

## 野外教育活動で学んだこと・心に思ったこと

野外教育活動で学んだことは、「優しさ」です。私は前日から体調が良くありませんでした。夜になるとせきがひどくなり、部屋の友達に迷惑をかけるといけないから、夜に母にむかえに来てもらい、家に帰る予定でした。ところが友達は、「私がないとつまらないから、帰らないで。せきなんか全然いいから。」と、言ってくれました。その言葉に泣きそうになりました。夜のキャンプファイアーは楽しすぎて、はしゃいでいたらせきが止まらなくなりました。友達は「大丈夫？薬飲んだら？」と、心配してくれました。私は友達の優しさに触れ、心配してくれる仲間が自分にとってどれだけ大切な存在かが、本当に分かりました。

野外教育活動で、協力や自然の大切さを学びました。班の活動では、分からないことがある人に教えてあげたり、遊んでいる人に注意をしてあげたりすることができました。大きな自然の中でねることは不安だったけど、虫の声を聞きながら楽しくねることができました。協力と自然は、生きていくためにすごく必要だと思いました。カレーライスも、友情の味がしました。家に帰って、「思い出につまったキャンプだったよ」と、家族に言いました。またすぐにキャンプに行きたくなりました。

野外教育活動でたくさんのことを学びました。一つ目は、「みんなで協力すれば、できないことは何もない」ということです。飯ごう炊さんでは、火がまったく着きませんでした。でも、カウンセラーがアドバイスしてくれたり、他の班の友達がまきを分けてもらえたおかげで、おいしいカレーライスが作れました。二つ目は、「使った物はきれいにちゃんと元に戻し、次に使う人のことを考える」ということです。センターに入ってすぐに思ったことは、ふとんがきっちりそろっていて、部屋にはゴミがひとつも落ちていませんでした。これから自分も、人のことを考えてそうじをしたいと思います。

野外教育活動で学んだことは、協力の大切さです。キャンプの心得である、「来たときよりも美しく」や「5分前集合」は、班の友達と協力しなければできません。飯ごう炊さんは、準備から片付けまでが飯ごう炊さんです。そして、一番心に残っているのは、退所する前のそうじです。わたしは、「きれいになってよかった」と思っていたけど、他のクラスのふたりの子は、「きれいにならなくて悔しい」と、みんなの前で言っていました。わたしも、そういう気持ちになりたいです。この気持ちを、学校でのそうじの時に生かしたいと思います。